

② 物流ネットワークの形成

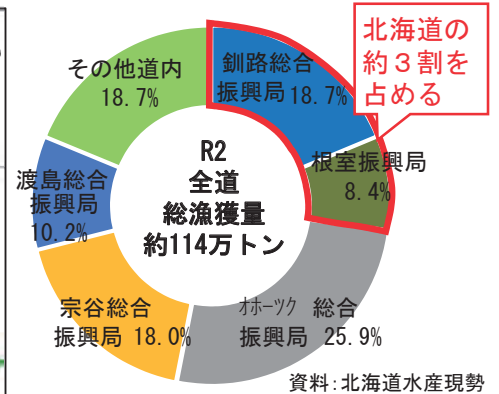
地域間の連携と交流を支える総合的な交通・物流ネットワークの形成、都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備を推進します。

■ 物流ネットワーク形成のための道路網整備

- ・ 空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路の整備を推進します。
- ・ 道州制特区推進法に基づき、国から道に移譲された事業※を着実に推進します。

※北海道開発のため特に必要と認められた道路で、本来の道路管理者に代わり、国が整備していたもの。平成22年度から道で実施。

【ICへのアクセス道路整備】



- ・ 本州への空輸経路
 - 別海・根室・釧路町から
 - 釧路(さんま)から
 - 羅臼・阿寒・十勝から
- ・ 道央への陸送経路
 - 釧路(水産加工品)から
 - 釧白工業団地から

釧路空港IC(仮称)新設とアクセス道路(山花鶴丘線)整備

【事業効果】

道東の空の玄関口である釧路空港と高規格幹線道路のアクセス向上を図ることによりインバウンドをはじめとする広域観光の振興や水産物などの物流の効率化、さらには大規模津波発生時における救援物資輸送路の確保など様々な効果が期待される。



【事業効果】

旭川市街地における交通混雑を軽減するため、渋滞が発生している踏切の立体交差化や4車線化により、安全で円滑な道路交通の確保や交通混雑の緩和が期待される。

都市計画道路永山東光線(愛別当麻旭川線)(旭川市)



【事業効果】

北見市街部と住宅地である川東地区は常呂川を渡る2箇所の橋梁を利用していたが慢性的な混雑が発生していた。新たに橋梁を架設し、道路整備を行うことで、都市内交通の円滑化が図られたとともに、歩道を整備することで歩行者の安全が確保された。

都市計画道路川東通(北見美幌線)(北見市)

【道州制特区推進法に基づく国からの移譲事業の推進】



整備状況



整備効果

【事業効果】

北海道縦貫自動車道へ最短で繋がる新たな道路ネットワークを構築することにより、富良野市への新たな観光ルートの形成や十勝岳噴火時における人流・物流の確保などが期待される。

道道美唄富良野線（美唄市、芦別市）



整備状況



整備効果

【事業効果】

名寄市と遠別町を結ぶ新たな道路ネットワークを構築することにより、物流の効率化、災害による孤立の解消、医療機関へのアクセス向上などが期待される。

道道名寄遠別線（遠別町）

■都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備

・都市の円滑な交通を確保するための幹線道路等の整備を促進します。



整備後

北海道ホールパークFビレッジ

きたひろしま総合運動公園線



整備効果

【事業効果】

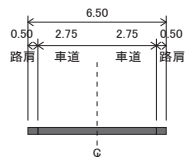
Fビレッジ開業後に増加する周辺道路の交通量分散を図り、安全で円滑な道路交通を確保できる。

道道きたひろしま総合運動公園線（北広島市）



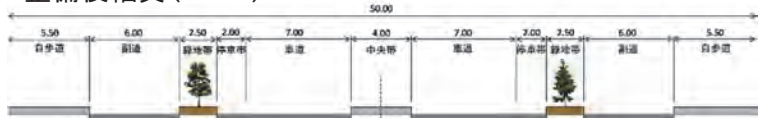
整備前

整備前幅員
（幅員6.5m）



整備後

整備後幅員（50.0m）



【事業効果】

帯広市街地における交通混雑を軽減するため、南北を貫く放射道路の複線化により、通過交通の定時性が向上したほか、自歩道を整備することで歩行者の安全が確保された。

都市計画道路弥生新道（幕別帯広芽室線）（帯広市）